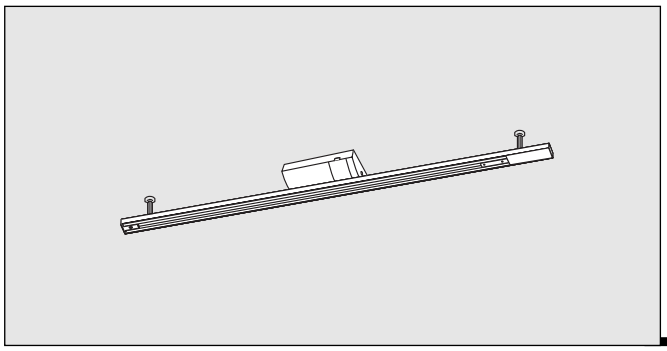
保管用

施工説明付き

保証書別添付

Panasonic

# 取扱説明書



# 住宅用照明器具
## （インテリアダクト）

品番 LK04175SK
（シルバーメタリック）
LK04175WK
（ホワイト）
LK04175BK
（ブラック）

## もくじ


安全上のご注意 …… 2〜3
各部のなまえ …… 3
照明器具を取り付ける …… 3〜6
負荷容量について …… 7
負荷切替スイッチについて …… 7
リモコン受信部のなまえとはたらき …… 7
リモコン設定のしかた …… 8
リモコンの使いかた …… 9
ご使用に関するお知らせ …… 9
お手入れについて …… 裏表紙
故障かな？と思ったら …… 裏表紙
保証とアフターサービス …… 裏表紙


### お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
**ご使用前に「安全上のご注意」(2〜3ページ)を必ずお読みください。**
保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

# 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

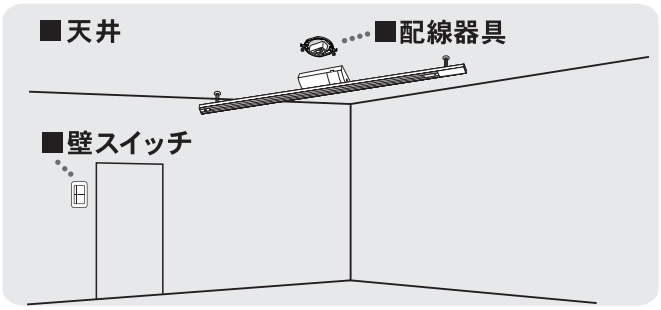
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ 注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

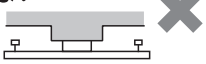
| | |
|---|---|
| 禁止 | してはいけない内容です。 |
| 必ず守る | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠ 警告

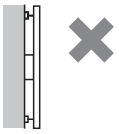



### ■天井

**●不安定な場所に取り付けない**
火災、落下によるけがのおそれがあります。

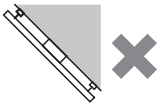


**●壁面に取り付けない**
火災、落下によるけがのおそれがあります。

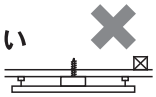


禁止

**●傾斜した場所に取り付けない**
火災、落下によるけがのおそれがあります。
◎この器具は天井面取付専用です。



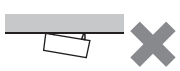
**●補強のない薄い場所(ベニヤ板、石こうボードなど)に取り付けない**
火災、落下によるけがのおそれがあります。



### ■配線器具

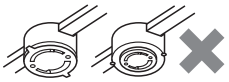
禁止

**●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない**
落下によるけがのおそれがあります。



斜めに取り付けられたもの

電源端子露出タイプ



ケースウェイに取り付けられたもの

埋込ローゼット
露出ローゼット
出しろの少ないもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（交換には資格が必要です。）

禁止

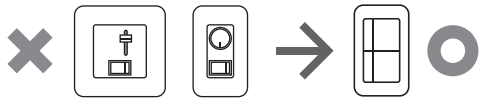
**●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

がたつき・破損

### ■壁スイッチ

必ず守る

**●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する**
火災のおそれがあります。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（取り外しには資格が必要です。）



### ■その他

**●交流100ボルトで使用する**
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

**●異常を感じた場合、速やかに電源を切る**
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

必ず守る

**●取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する**
落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

**●取付板を確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

**●フランジを確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

**●灯具(別売)を確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

**●器具の定格を超えない範囲で使用する**
定格を超えますと、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。
■灯具の合計容量：300W (3A)まで
■灯具の合計質量：スライド位置により異なります。
- 0 cm（中央時）　片側 3kg まで（合計6kgまで）
- 10 cm　まで　片側 3kg まで（合計6kgまで）
- 20 cm　まで　片側 2.5kgまで（合計4kgまで）

## ⚠ 警告

禁止

**●指定のランプ種類以外や負荷容量制限を超える器具を取り付けない**
火災のおそれがあります。

分解禁止

**●器具を改造したり、部品交換をしない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

## ⚠ 注意

必ず守る

**●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください**
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき、自主点検してください。

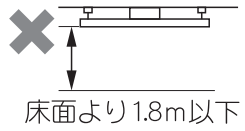
水ぬれ禁止

**●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない**
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

**●温度の高くなるものを器具の真下に置かない**
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

禁止

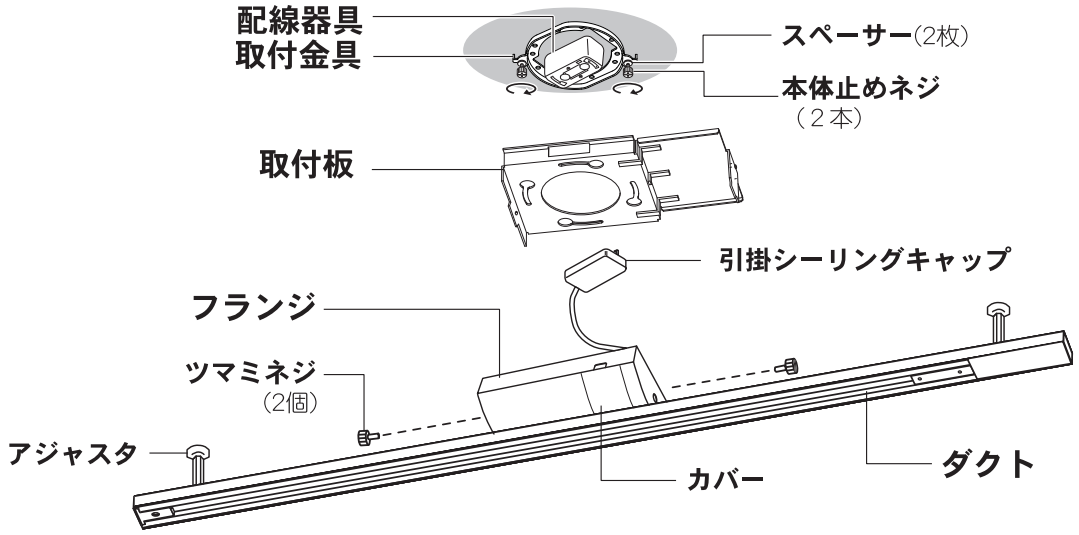
**●床面より1.8m以下の場所には取り付けない**
感電の原因となることがあります。




**●蛍光灯器具を接続して、負荷切替スイッチを連続調光（白熱灯負荷）にしない**
火災、器具の破損の原因となります。

## 各部のなまえ

**●器具を下図の状態にしてから施工を行ってください。**




## 照明器具を取り付ける

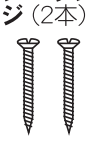
安全のため、電源を切ってから行ってください

### 取り付け前のご準備

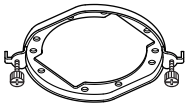
①付属部品を確認する。

**配線器具**
**角型引掛シーリング**

**引掛シーリング用木ネジ**（2本）



**取付金具**
**本体止めネジ**（2本）



**取付金具用木ネジ**（2本）

●使用しない付属部品は大切に保管してください。
引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

②ツマミネジ(2個)を取り外して、取付板をフランジより取り外す。
③角型引掛シーリングを引掛シーリングキャップより取り外す。
④本体止めネジ(2本)をゆるめて、取付板より取付金具を取り外す。

（次ページにつづく）

# 照明器具を取り付ける(つづき)

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。☞ 9ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

取り付け方

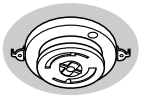
## 1 天井の配線器具を確認して､取り付けの準備をする

**天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。** **下記の準備を行ってください。**

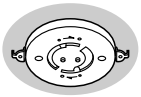
角型引掛
シーリング
WG1000

丸型フル引掛
シーリング
WG5005
WG5015

丸型引掛
シーリング
WG1500・WG4000
WG4420・ WG4425



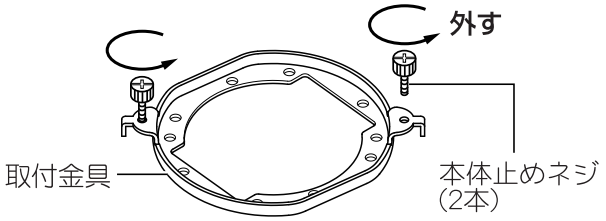
フル引掛
ローゼット
WG6005



引掛埋込ローゼット
WG6000
WG6130
WG6420

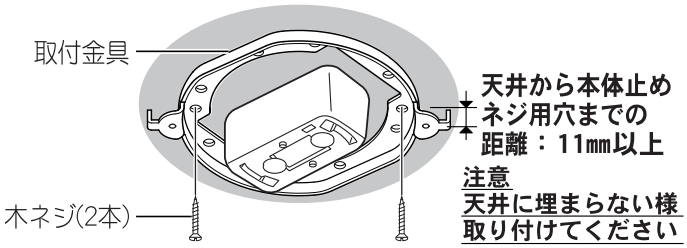
### 付属の取付金具の取り付けが必要です

**①取付金具に付いている本体止めネジを外す**

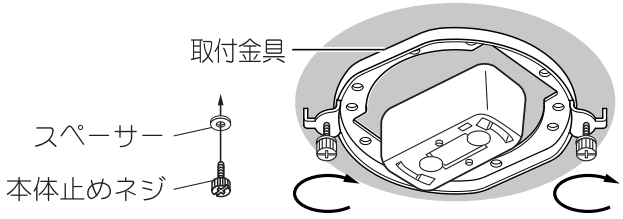



**②補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取り付ける**

凹凸のない水平天井である事を確認する。




**③本体止めネジにスペーサーをはめ込み取付金具に取付ネジを仮止めする**



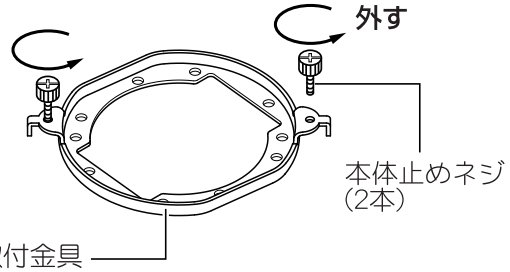

3回転ねじ込む

**⚠ 警告**

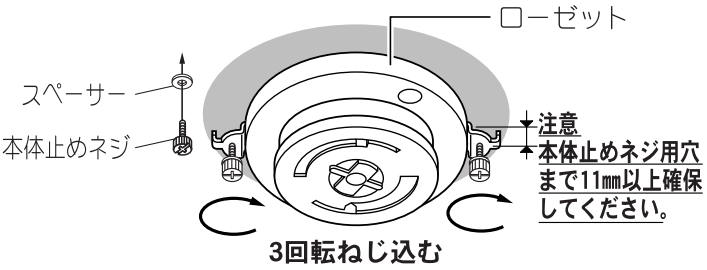
**必ず守る** **取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する**
落下によるけがのおそれがあります。

### 付属の本体止めネジの付け替えが必要です

**①取付金具に付いている本体止めネジを外す**
(取付金具は使用しません)




**②ローゼットに本体止めネジを仮止めする**




3回転ねじ込む

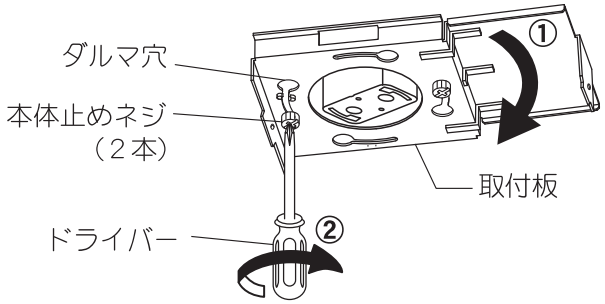
●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具(補修品番：HK956000SU)が必要です。

**上記以外の配線器具の場合、または配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。**

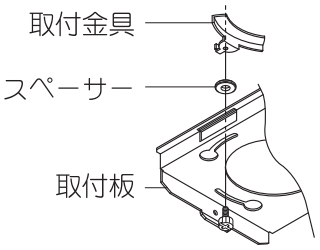
◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

## 2 取付金具またはローゼットに取付板を取り付ける

①本体止めネジ(2本)にダルマ穴を合わせて
取付板を押し上げ右に回す。
**注）ダクトの取付方向に合わせて
取付板を取り付けてください。**
②本体止めネジ(2本)をドライバー等で
確実に、締め付ける。




**※スペーサーは必ず取付金具と取付板の間に
挟んでください。**



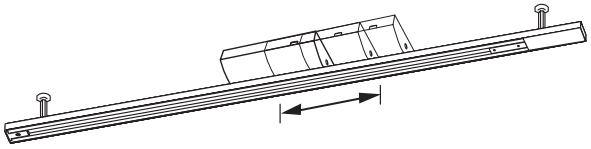

**⚠ 警告**

必ず守る

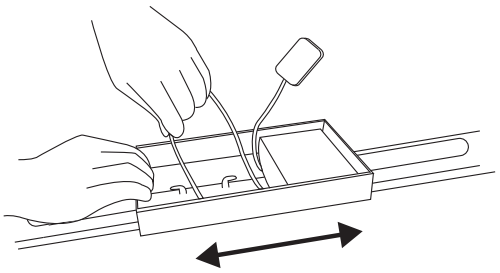
**取付板を確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下による
けがの原因となることがあります。

## 3 スライド位置を調整する

**●フランジを動かして調整します。**



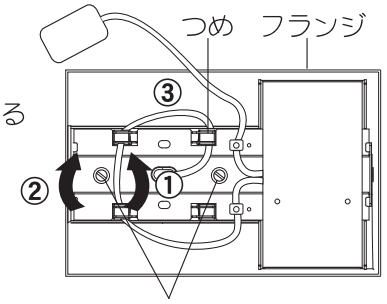
注）コードを真っ直ぐにしながら
スライドさせてください。
無理な力で引っ張らないこと。



① フランジの中の袋ナット(2個)を
ゆるめ、フランジをスライドさせる

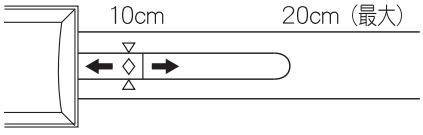
② 好みの位置で袋ナット(2個)を
マイナスドライバー等で確実に、
締め付ける。

③ 余ったコードをフランジの内側の
つめに巻き収納する



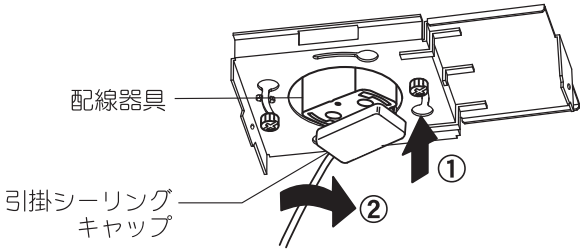

**●スライド位置は、目印を参考にしてください。**

最大で約20cmスライドできます。




## 4 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する

①引掛シーリングキャップを配線器具の溝に合わせる。
②止まるまで右に回す。




（次ページにつづく）

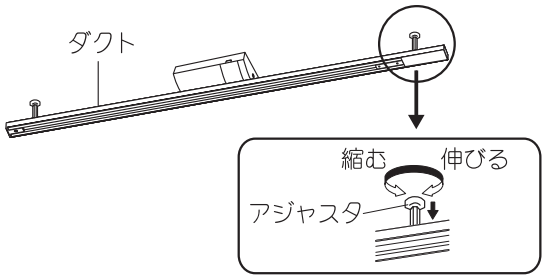
# 照明器具を取り付ける(つづき)

安全のため、電源を切ってから行ってください

## 5 フランジを取り付ける

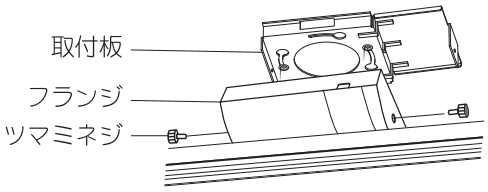
① 取付板が固定されていることを確認する。
②アジャスタが伸びていないことを確認する。
③フランジを持ち上げながらツマミネジ(2個)を
マイナスドライバー等で 確実に、締め付ける。

**注）フランジを取り付けた後で、ダクトに無理な力をかけないでください。天井面を傷付けるおそれがあります。**
**注）ツマミネジを取付ける際ドライバーの先端でフランジを傷つけないように注意してください。**




**⚠ 警告**

必ず守る **フランジを確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

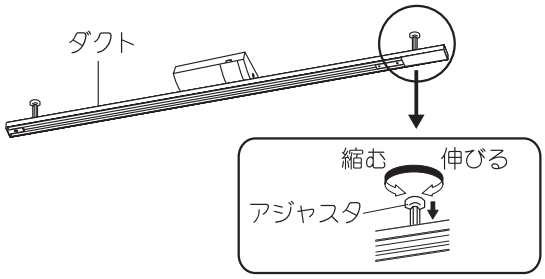



## 6 アジャスタの長さを調節する

天井面とダクトの隙間を、アジャスタを回転させて調節する。
両側の隙間が均等になるように調節してください。

**注）ロックウール等のやわらかい天井ではアジャスタの痕が残る場合があります。ご了承ください。**

**アジャスタでダクトを無理に変形させますと破損､落下によるけがの原因となります。**




## 7 灯具（別売）を取り付ける

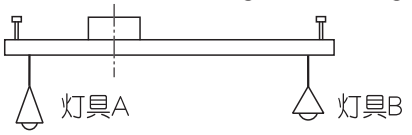
●灯具の合計負荷容量：
☞ 7ページ「負荷容量について」を参照。

**・取り付け方法は､灯具(別売)の説明書をよくお読みください。**

●灯具の合計質量：スライド位置により異なります。
・0 cm（中央時） 片側 3kg まで（合計 6 k g まで）
・10 cm まで 片側 3kg まで（合計 6 k g まで）
・20 cm まで 片側 2.5kgまで（合計 4 k g まで）

**注）リーラーペンダント及びプルスイッチ付ペンダントは取り付け出来ません。**
**注）灯具を取り付けた後、天井面とアジャスタの間に隙間があく場合は、再度アジャスタの長さを調整してください。**

（参考例）
20cmスライド時、片側 2.5kgまで(合計4kgまで)




・灯具A + 灯具B ＝ 合計質量
2.5 ＋ 1.5 ＝ 4.0 kg
1.5 ＋ 2.5 ＝ 4.0 kg

フランジの中央で左右が分かれます

**⚠ 警告**

必ず守る **灯具(別売)を確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

# 負荷容量について

蛍光灯と白熱灯を混在せずにご使用ください

**・蛍光灯負荷容量（ランプ種類A、B、Cを混在せずにご使用ください。）**

| | ランプ種類 | | | | 蛍光灯負荷容量制限 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | ツインパルック蛍光灯<br>スパイラルパルック蛍光灯<br>丸形スリム蛍光灯<br>丸形蛍光灯 | FHD<br>FHS<br>FHC<br>FCL | Ｈｆスリム蛍光灯<br>直管蛍光灯 | FHF<br>FL | 120Wまで |
| B | コンパクト形蛍光灯 | | | | 200Wまで（ただし、最大6灯まで） |
| C | パルックボール蛍光灯 | | | | 150Wまで（ただし、最大8灯まで） |

**・白熱灯負荷容量制限**　40W～300Wまで

**⚠ 警告**

禁止

**指定のランプ種類以外や**
**負荷容量制限を超える器具を**
**取り付けない**
火災のおそれがあります。

# 負荷切替スイッチについて

## 白熱灯を操作する場合

負荷切替スイッチが
なっていることを確認する
白熱灯（連続調光）〈蛍光灯（ON/OFF）／白熱灯（連続調光）〉に

## 蛍光灯を操作する場合

負荷切替スイッチが
なっていることを確認する
蛍光灯（ON/OFF）〈蛍光灯（ON/OFF）／白熱灯（連続調光）〉に

## 負荷がわからない場合

接続する負荷が未定またはわからない場合は
蛍光灯（ON/OFF）〈蛍光灯（ON/OFF）／白熱灯（連続調光）〉に切り替えてください

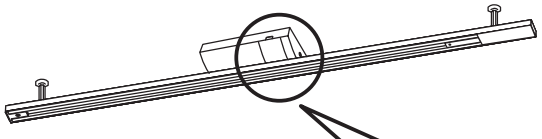
**⚠ 注意**

禁止

**蛍光灯器具を接続して、負荷切替スイッチを**
**連続調光（白熱灯負荷）にしない**
蛍光灯が接続されている場合に、負荷切替スイッチの設定を白熱灯負荷〈蛍光灯（ON/OFF）／白熱灯（連続調光）〉にすると
火災、器具の破損の原因となります。

メモ　**工場出荷時は蛍光灯（ON/OFF）に設定されています。**

# リモコン受信部のなまえとはたらき

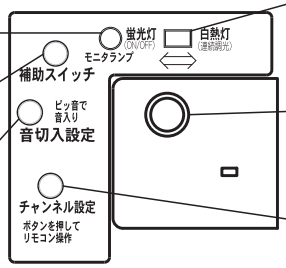


**リモコン受信部のはたらき**

**モニターランプ**
通電中は赤色のランプが点灯します。

**補助スイッチ**
押すごとに全灯/消灯します。

**音入切設定スイッチ**
押すごとにリモコン操作時の音を入/切します。「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」




**負荷切替スイッチ**
接続する照明器具に合わせ「白熱灯」または「蛍光灯」に切り替えます。

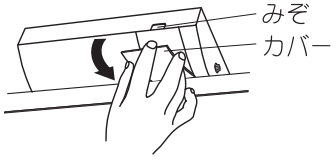
**リモコン受信部**
リモコンからの信号を受けます。
（傷つけたり、汚したりしないでください。）

**チャンネル設定スイッチ**
器具のチャンネルを設定する場合に使用します。

# リモコン設定のしかた　リモコン送信器は別売です

## 1 カバーを外す

フランジのみぞに指をかけて、カバーを下向きに引いて外す。
**注）カバーが落下しないように手で受けて外してください。**




## 2 負荷切替スイッチを設定して、壁スイッチをONにする

ランプの種類（蛍光灯または白熱灯）に合わせて切り替える　☞ 7ページ「負荷切替スイッチについて」参照

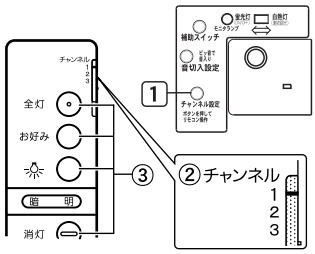
## 3 チャンネルを設定する

**（ HK9327Kの使用例 ）**

1 リモコン受信部のチャンネル設定スイッチを押す

2 リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる
【例：チャンネル1】

3 リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして設定完了




メモ

●２台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、
リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、１台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。
（ 操作できる台数はリモコンにより異なります。）

**（ HK9394の使用例 ）**

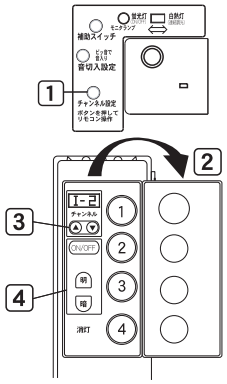
1 リモコン受信部のチャンネル設定スイッチを押す

2 前面パネルを開ける

3 リモコンの「▲」「▼」を押し操作する
照明器具のチャンネルを表示する
（８チャンネルまで切り替え可能。）

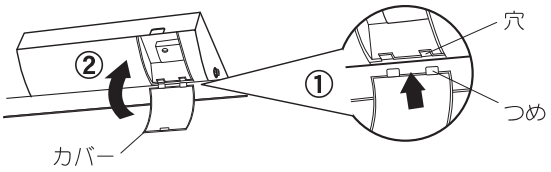
（照明器具が I-2 の場合　I-2 チャンネル）

4 「ON／OFF」「明」「暗」のいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして設定完了




## 4 カバーを付ける

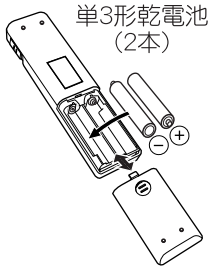
①カバーのつめをフランジの穴に入れる。
②カチッと音がするまでカバーを押さえる。




### 電池の交換方法

**電池交換時期の目安**

・乾電池は半年を目安に交換してください。



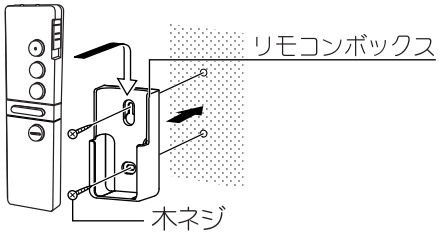

**⚠ 注意**

必ず守る

●指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。
●極性表示の通り ⊕⊖ を正しく入れる。
●使用後、可燃ゴミにまぜたり燃やしたりしない。
電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

### リモコンボックス

（紛失防止用として壁掛け収納できます。）



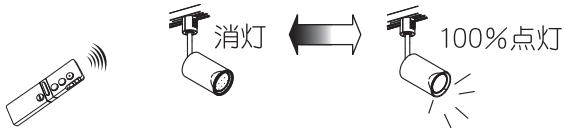

●壁掛け状態ではリモコン操作による切り替えができない場合がありますので、リモコン送信器を照明器具に向けて操作してください。

# リモコンの使いかた　壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

## 白熱灯を操作する場合

### リモコンでの操作

●0～100%まで調光することができます。




（HK9327Kの使用例）

| 操作ボタン | 負荷切替スイッチ |
|---|---|
| | 白熱灯(連続調光) |
| 明 | 0→100%まで調光可能 |
| 暗 | 100→0%まで調光可能 |
| 全灯 ⊙ | 100%点灯 |
| お好み ○ | リモコンで設定した任意の明るさで点灯 |
| ✲ ○ | 25%点灯 |
| 消灯 ⊖ | 消 灯 |

（HK9394の使用例）

| 操作ボタン | 負荷切替スイッチ |
|---|---|
| | 白熱灯(連続調光) |
| ON/OFF | 100%(任意)←→消灯 |
| 明 | 0→100%まで調光可能 |
| 暗 | 100→0%まで調光可能 |
| 消灯 ⊖ | 消 灯 |

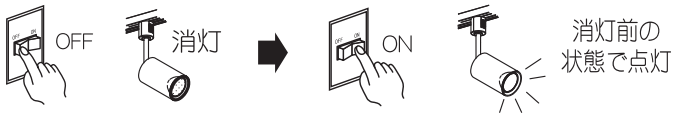
※詳しい操作方法はリモコンの説明書をご参照ください。

### 壁スイッチでの操作

通常の点灯、消灯だけでなく、点灯状態を切り替えることができます。

#### 消灯する・点灯する

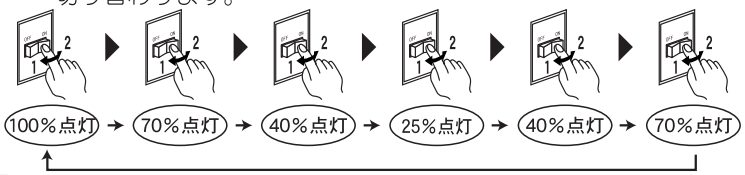
●壁スイッチをONすると、消灯前の状態で点灯します。
「調光」でOFFすると、次にONしたときは「調光」で点灯、
「全灯」でOFFすると、次にONしたときは「全灯」で点灯します




メモ ●リモコンで「消灯」した後に壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONしても「消灯」のままです。壁スイッチを素早く（約２秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。

#### 点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約２秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

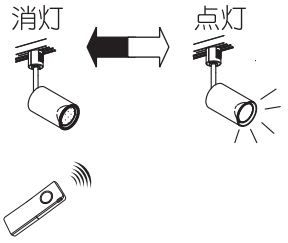



メモ ●リモコンで消灯しているときにこの操作をすると、全灯に切り替わります。
●壁スイッチ1個で2台以上の本商品を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（１W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

## 蛍光灯を操作する場合

### リモコンでの操作

●ON/OFF操作することができます。（調光できません。）




（HK9339の使用例）

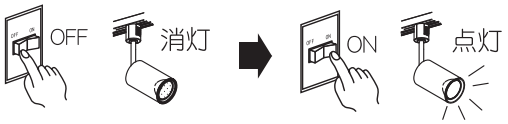
| 操作ボタン | 負荷切替スイッチ |
|---|---|
| | 蛍光灯(ON/OFF) |
| ○ | 点 灯 |
| ○ | 消 灯 |

（HK9327Kの使用例）

| 操作ボタン | 負荷切替スイッチ |
|---|---|
| | 蛍光灯(ON/OFF) |
| 全灯 ⊙<br>お好み ○<br>✲ ○<br>明 | 点灯 |
| 暗<br>消灯 ⊖ | 消 灯 |

### 壁スイッチでの操作

#### 点灯状態を切り替える




メモ
●壁スイッチを素早く(約２秒以内) OFF→ON しても前の状態で点灯したままです。
●あらかじめ器具で設定した明るさで OFF⇔ON する場合は、器具で設定した明るさで点灯します。

# ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

●火災警報機、熱感知器などの真下に器具を取り付けないでください。
●スポットライト等の灯具で、熱感知器を照射しないで下さい。誤作動の原因となります。
●スライド操作は器具を取り外しておこなってください。天井面の傷つきや、故障の原因となります。
●操作しようとしている場所から必ず見通しのきく場所に取り付けてください。
また、リモコン送信器とリモコンアダプタの間に遮へい物があるような場所は避けてください。
●天井面にアジャスタ（ダクト安定用部品）の痕が残る場合があります。ご了承ください。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変る場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
●壁スイッチがあると、リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合にも点灯消灯ができます。（本体のリモコン制御部の「補助スイッチ」を押すと消灯/全灯は可能）
●壁スイッチをOFFにしなければ、消灯時も電力を消費します。
●照明器具以外（電磁開閉器など）には、使用できません。
●調光器機能付、リモコン内蔵の器具への使用およびライトコントロールとの併用はできません。
また、壁スイッチでも点灯切替機能付やセンサー機能付の器具への使用およびライトコントロールとの併用はできません。
●負荷切替スイッチを白熱灯(連続調光)に設定している場合、蛍光灯器具(パルックボール含む)は使用できません。

## お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

## 故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

| 現　象 | 考えられる原因 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| リモコンで操作できない | リモコンの電池が消耗している | 電池を交換する | お使いのリモコンの取扱説明書 |
| | リモコンの電池が正しく入っていない | 電池を正しく入れる | |
| | リモコンアダプタのチャンネルが合っていない | チャンネルを合わせる | 8ページ 3 |
| リモコンで白熱灯を調光できない | 負荷切替スイッチが蛍光灯側になっている | 白熱灯側にする | 7ページ「負荷切替スイッチについて」参照 |
| 補助スイッチで操作できない | 灯具のスイッチがOFFになっている | ONにする | 灯具(別売)の取扱説明書 |
| | ランプが切れている | ランプを交換する | |
| | 壁スイッチがOFFになっている | 壁スイッチをONにする | 9ページ「リモコンの使いかた」 |
| 壁スイッチで操作できない | 灯具のスイッチがOFFになっている | ONにする | 灯具(別売)の取扱説明書 |
| | ランプが切れている | ランプを交換する | |
| 壁スイッチで白熱灯の点灯状態を切り替えできない（点灯したまま） | 負荷切替スイッチが蛍光灯側になっている | 白熱灯側にする | 7ページ「負荷切替スイッチについて」参照 |
| ランプが勝手に点滅する | 負荷容量制限を越えている | 負荷容量を確認し、適合負荷にする | 7ページ「負荷容量について」参照 |
| 壁スイッチまたはリモコンで蛍光灯がちらつく正常点灯しない | 負荷切替スイッチが白熱灯側になっている | 器具破損が考えられますのでただちに電源を切り、購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。 | |

**上記の処置を行っても現象が続く場合**

①電源をいったん切り再度入れる。
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す。
③器具のチャンネルを変更する。☞ 8ページ「リモコン設定のしかた」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

# 保証とアフターサービス　よくお読みください

**使いかた・お手入れ・修理などは…**
**■まず、お買い上げの販売店へご相談ください**
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　）ー
お買い上げ日　年　月　日

**●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
**●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**
＊修理料金は次の内容で構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 診断･修理･調整点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代 |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用 |

**●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。**

**修理を依頼されるときは…**
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名　住宅用照明器具
●品　　番　☐ LK04175SK　☐ LK04175WK　☐ LK04175BK
☑ 保証書または器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。
●故障の状況　できるだけ具体的に

**保証期間：お買い上げ日から本体１年間**

※保証の例外　２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

**補修用性能部品の保有期間　6年**
＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571−8686　大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012